

放射線科

1) 診療科紹介

放射線科で施行される各種検査(MRI、CT、胃・大腸透視など)は、当科医師により診断され各診療科主治医へ報告されます。また、肝腫瘍や血管狭窄などを血管内部から治療する、インターベンショナルラジオロジー(IVR)の専門家として、各診療科をサポートしています。グループ病院からも依頼され転送されてくる画像診断を含め、年間の診断件数は、CT約17000件、MRI7000件程度です。当科で施行する血管造影は年間140件程度です。常勤のスタッフ三名(内、一名はPET-CT画像センター兼務)と非常勤医師四名にてCT、MRI画像を中心とした日常の診療業務を行っています。IVRについては、週一回、IVR専門医が非常勤医師として診療・指導にあたっています。

2) 関連学会

社団法人日本医学放射線学会 <http://www.radiology.jp/>

3) 施設認定・指導医・専門医

放射線科専門医修練協力機関

研修責任者氏名 川口 信之 kawag@maia.eonet.ne.jp

放射線科専門医 川口 信之

放射線科専門医 浜中 恭代

放射線科専門医 廣瀬 朋宏

IVR 専門医 金崎 周造 (非常勤)

4) 放射線科専門医受験資格

放射線科専門医会 <http://www.jcr.or.jp/>

一次試験受験資格：初期研修後、放射線専門医修練機関あるいは修練協力機関で二年の研修を受けたもの。

二次試験受験資格：一次試験合格後、同様機関にて二年の研修を受けたもの。

5) 日本放射線科専門医会と日本医学放射線学会が作成した画像診断ガイドライン-2003

<http://www.jcr.or.jp/guideline/guideline.html>

6) 後期研修の目標

放射線科診療に関する基礎的な知識と技術の習得をし、画像診断・IVRについて、幅広い知識と技術を身につける。

7) 目標達成のための戦略の特徴

常勤の画像診断医三名以外に毎日専門医資格を持つ非常勤医一名が勤務しており、その指導を受けることができる。最新の画像診断装置である64列CT、PET-CT画像等が設置されている。京都駅前という地の利を生かした豊富な救急症例を経験できる。

8) 年度ごとの研修

1年次：CT、MRI、PET-CTの基本的な読影能力を身につける。

適切な撮像、造影プロトコルの指示ができるようにする。

血管造影を安全に施行できる技術を習得する。

2年次：CT、MRIの診断能力を向上させ、単独でレポートを作成できるようにする。

血管造影による治療（IVR）技術を習得する。

3年次：画像診断、IVRについて、さらに幅広い知識と技術を身につけ得意分野を作る。

学会発表、論文発表を行う。

9) 大学医局との関連

滋賀医科大学放射線科の関連施設。

10) 将来の進路

武田病院グループの病院（当院を含む）で、スタッフとして勤務。

大学院進学。

滋賀医科大学関連施設に勤務、等。

11) 研修問い合わせ先

医療法人財団康生会 武田病院 臨床研修委員会

電子メール・アドレス： info@takedahp.or.jp